

そうせい

SOUSEI

期待をカタチに――

会派広報／2018年(特別号)

編集責任者／そうせい 幹事長・藤田 信 編集・発行／秋田市議会会派そうせい
〒010-8560 秋田市山王1-1-1 電話：018-888-5408

そうせい
幹事長

藤田
まこと
信



そうせいの行動指針

総政・総SAY「市民が主役」

市民一人ひとりの思いやアイデアを実現していくため、行政分野の枠を超えた市民目線の議論・提案をしていきます。

創生「地域を創造」

地域の将来を見据えた長期的な視点「次世代志向」で、現状に捉われない柔軟な発想で新しい地域を創造していきます。

創政「批判より提案」

批判やチェックだけでは終わらず、秋田市全体にとって最適な、建設的かつ現実的な政策提言をしていきます。



市民とともに秋田を創造していく

「市民が主役」、「地域を創造」、「批判より提案」という会派の行動指針に従い、「パブでパブコメ」と題した市民セミナーや「そうせい市民交流キャラバン」と題した市政報告・意見交換会を、各市民サービスセンターやエリアなかいち、各地区コミュニティセンターなどで計20回開催し、いただいたご意見は、会派内で議論・検討し、政策立案や提案に活かしております。こうした取組は、議会全体で行うべきですが、議会内の合意が得られないため、会派独自に行っております。有意義な取組として多くの方々にご理解いただくためにも、積極的にご参加いただければ幸いです。また、お住いの地域での開催希望がございましたら、遠慮なくお申し付けください。市民一人ひとりが希望を持てる未来をいかに創りあげていくか、初心を忘れず、緊張感を持って市当局と対峙し、積極的にチャレンジする秋田市となるよう頑張っておりますので、ご指導賜りますとともに、ご意見をお聞かせいただければ幸いです。

一般質問



平成29年11月定例会で、一般質問に登壇しました。財政や公共施設のマネジメント、多様性社会、生涯現役社会、健康、地産地消、テレワーク、木育など、取り上げたいテーマはたくさんありますが、私のライフワークや今後議論を深めるべきことなどに絞り込みました。

主な質問項目

- 1 ワーク・ライフ・バランス等の推進について
- 2 子供を産み育てやすい環境づくりについて
- 3 放課後児童対策について
- 4 小学校におけるプログラミング教育について
- 5 スタジアム整備について
- 6 自転車を活用したまちづくりについて
- 7 シェアリングエコノミーによるまちづくりについて
- 8 二地域居住の推進について
- 9 旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園について

Q 勤務間インターバル制度(項目1)

企業等が同制度に取り組むことをどのように評価するか。秋田市元気な子どものまちづくり企業認定基準に同制度を例示し、同制度の導入を推奨するべきではないか。

A ワーク・ライフ・バランスの推進や仕事と子育ての両立、過労リスクの低減等につながると認識している。秋田市元気な子どものまちづくり企業認定基準においても、両立支援などにつながる取り組みの一つとして例示し、同制度の啓発に努めていく。

Q 児童館の運営体制(項目3)

児童厚生員の配置状況および欠員の発生原因は、処遇改善と児童館補助員の増員により、適切な運営体制を整えるべきではないか。

A 欠員の主な原因は、報酬や勤務形態が土曜日を含む週6日であること等と考えている。引き続き報酬の増額を検討するとともに、例えば、週6日勤務を2人で3日ずつに分けるなど柔軟な勤務形態への見直しを図る。

Q 市役所への勤務間インターバル制度の試行(項目1)

長時間労働を抑制し、職員が健康で効率的に働ける職場環境を整えるため、勤務間インターバル制度の導入に向けた試行はできないか。

A 直ちに導入するのは難しいが、職員の健康確保に資する制度として共感できるため、他自治体の試行状況を注視しながら、職員のワーク・ライフ・バランス推進に取り組んでいく。

Q ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の優遇措置(項目1)

秋田市元気な子どものまちづくり企業に認定された事業所について、総合評価落札方式において優遇措置を設けられないか。

A 認定企業が増加しており、平成30年度を目処に導入を検討する。少額随意契約については、認定企業が増えた段階で検討する。

市民の声から政策提案、ワークライフバランスで子育てしやすい社会に!

TOPIC 1 イクボス・ワークライフバランスの輪がひろがっています



私が提案したイクボスの取り組みが広がっています。市長、部長・次長級に続き、昨年7月には市の課長級が、11月には市内企業42社がイクボス宣言しました。イクボスとは、子育てや介護、病気・障害など、働き方が制約されてしまう人にも仕事しやすい職場環境を整え、自分や部下のプライベートも充実させようとする上司のことです。市では、イクボス度ジャッジやイクボス10カ条、事例紹介などを掲載したハンドブックを作成し、企業等への働きかけしており、私も引き続き力を入れていきます。

TOPIC 2 「ファザーリング東北フォーラム in あきた」を開催しました



昨年11月25日(土)、私も所属するNPO法人ファザーリング・ジャパン東北が「笑っている父親になろう!東北に笑っている父親を増やそう!」をテーマに、東北で初めて「ファザーリング東北フォーラム in あきた」を開催しました。イクボス企業同盟結成式や女性の活躍推進シンポジウムも同日開催し、私たちは、ランチ交流会やパパと遊ぼうコーナーを運営。イクメン・カジダン、イクボス、女性活躍を3点セットで推進する良い機会になりました。これらの機運が一層高まることを願って、これからも取り組んでいきます。

3 和洋高校の移転やスタジアム整備の進め方は…



▲秋田市議会資料より

昨年11月定例会、今年2月定例会において、補正予算案に対する修正案を提出しました。必要額が精査されていない和洋高校の建物移転補償費や、目的が曖昧で取組内容の検討が不十分な八橋陸上競

修正案を提出!

技場の整備費用が含まれていたからです。最近、県に言われるがまま、拙速に物事が進められているように見受けられることがあります。結果ありきの拙速かつ強硬な進め方では、責任ある判断ができません。

4 市民交流キャラバン、パブでパブコメ、オフィスアワー



市民の声を届けると言いながら、そうした取組はあまり盛んではないのが実情ではないでしょうか。党派として、「そうせい市民交流キャラバン」や「パブでパブコメ」など、ざっくばらんに意見交換できる

場を用意しているほか、不定期となってしまいますが、皆さまに気軽に市議会の控室に立ち寄ってもらい、相談やお話ができる場として、「オフィスアワー」を実施しており、藤田が対応しております。

5 駅東夏祭りを初開催



昨年8月11日に、秋田駅東口の通称「こまち公園」で「駅東夏祭り」を初開催しました。これは、市の「地域づくり交付金」の助成を受けて実施したもので、私は、実行委員会の一員として、微力ながらお手

伝いさせていただきました。世代を越えて多くの方々交流できる場として、また、地域の担い手を発掘・育成していく場として、この夏祭りを育てていきたいと思えます。

お気軽にお呼びください(出前講座など)



町内会の勉強会やサークルのランチ・ミーティングのほか、お友達何人かでお話を聞いてみたいといったご要望にもお応えしております。お気軽にお申し付けください。

市議会は何をするところ?/国会と市議会はどう違うの?など
その他、ご要望に応じてお話いたします。

市議会や市役所をご案内いたします



閉会中は、本会議場や委員会室のほか、会議室や図書室、党派控室も見学できます。議場での記念撮影や、会食しながらの意見交換会も承りますので、ご相談ください。

開会中の本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。
事前申込は不要で、当日の先着順となります。

どこに相談したらよいか分からないときは…

国会議員秘書や県職員時代の経験とネットワークを活かし、市だけではなく、国や県など幅広く対応できますので、ご遠慮なくどうぞ。

連絡先/ そうせい 幹事長 藤田 信

☎ 090-2888-6279

※ホームページの内容(抜粋)を印刷してお送りすることもできますので、ご希望の方はお申し付けください。

ファックス:018-803-5383

電子メール:fujita.maco10@gmail.com

WEBサイト:http://fujita-makoto.com